豊田市石畳ふれあい広場長期計画概要

■各計画やワークショップから導き出された課題

【豊田市観光実践計画】

○計画では基本理念のサブフレーズで「観光でかがやき、観光がまちを一つにする」とあり、視点において「観光の魅力づくり」「地区間連携」「観光振興の仕組みづくり」による観光の活性化が望まれている。

【藤岡地区まちづくりビジョン】

○ビジョンにおいて、石畳ふれあい広場に直接的に関連する内容として、「人づくり」「生きがいづくり」「地域で支えあう子育て」「地域資源の活用」が求められている。

【ふじおか回遊促進計画】

○計画では、めざす姿を「ふじおかの魅力や資源をストーリーでつなぎ合わせて発信する」として、石畳足湯の有効活用の「基本的な考え方」には、既存イベントとの連携・さらなる集客の促進・経済的な効果を高める工夫と推進が必要としている。

【石畳ふれあい広場の利用者数】

- ○藤岡地区は人口が年々減少傾向となっていること、また、石畳ふれあい広場の入 込客数も年々減少傾向となっていること、さらに、他地区の観光施設も減少傾向と なっていることを踏まえ、利用者減少を食い止める必要がある。
- ○石畳ふれあい広場の4つの施設(足湯、広場、マレットゴルフ場、体育館)において、それぞれの利用頻度を高めるために季節別、月別、催事別に魅力を付加していく必要がある。

【ワークショップの結果】

- ○ワークショップでの課題は「施設全体の景観見直し」「施設の利用・運用の見直 し」「魅力ストーリーづくり」「資源掘起こしの気運づくり」「管理運営体制の見 直し」「地域住民の協力気運づくり」に集約された。
- ○これらの課題を関係者すべてが積極的に関与し、着実に遂行していく必要がある。

■めざす方向性

【石畳ふれあい広場の魅力】

- ○山間の里山として落ち着いた佇まいの空間を持っている
- ○周辺の観光スポットを回遊する際、休憩場所として利用できる立寄りルート にある
- ○短時間でも楽しめる足湯、朝市、マレットゴルフ場、広場空間のある遊び場 機能を持っている
- ○季節ごとの恒例イベントが開催され、地域住民や地区外からの来訪者が一定 数いる
- ○年間延べ5万人ほどが利用している
- ◆これらの魅力にさらなる価値を加えることで、地域住民や地区外の人に も親しまれる空間に発展させることをめざします。

■取組の柱

◆観光施設として魅力ある景観づくり

観光施設としての風景価値の創造を目指して、広場全体の風景や修景等を整備していく。

◆立ち寄りたくなる魅力情報の発信

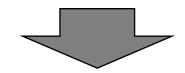
話題になる出来事をストーリー化させる仕組みを整えて、内外に積極的に発信していく。

◆話題づくりのための付加価値

感染症対策に配慮した足湯、朝市、イベント等の話題となり得るさまざまな遊び 場機能に付加価値を加えていく。

◆住民参加で支える運営の仕組み

地域住民が楽しんで参加し支援ができる運営体制の仕組みを整えていく。



■具体的な取組

1.景観づくり

〈環境整備〉

- (1) 樹木剪定・植栽植替え事業
- (2) マレットゴルフ場整備事業
- (3) 休憩所計画・整備事業

〈修景整備〉

- (1) 修景デザイン魅力向上事業
- (2) ライトアップ魅力向上事業
- (3) 休憩所運用利活用事業

2.話題づくり

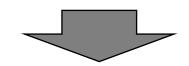
- (1) 足湯魅力向上事業
- (2) 朝市魅力活性化事業
- (3) マレットゴルフ場利活用向ト事業
- (4) 広場・体育館の運用利活用向上事業
- (5) 既存イベント連携型の新規イベント事業
- (6) 飲食サービス提供事業

3.情報発信

- (1) PR発信支援体制づくり
- (2) 広報宣伝ツール見直し計画

4.住民参加

- (1) 運営体制向上計画
- (2) 支援体制拡張計画



■指標

年間利用者数

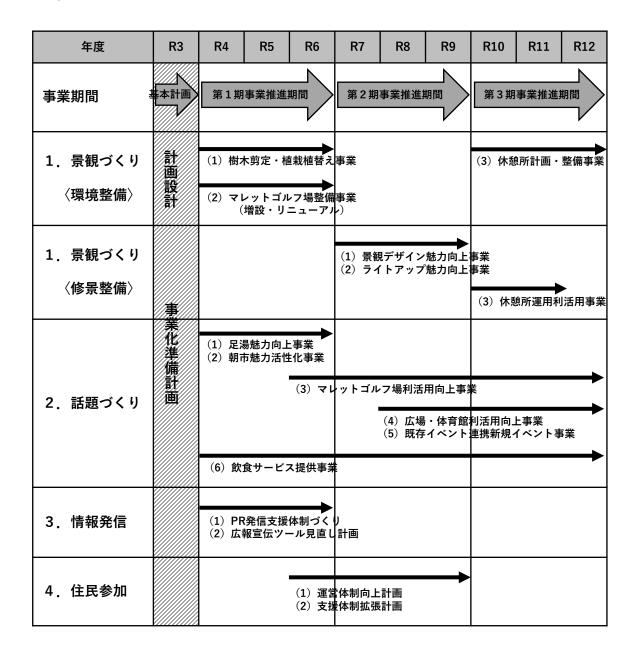
48,900人 (2019年度)



59,000人 (2030年度)

豊田市石畳ふれあい広場長期計画概要

■工程



■ふれあい広場全体景観の将来イメージ



■足湯話題づくりの演出イメージ



足湯で映像・音楽を流しながら「読み聞かせ」をしている演出イメージ